

平成 20 年 12 月 25 日

各 位

会社名 児玉化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 宇川 進
(コード番号 4222 東証第 2 部)
問合せ先 経理部長 小林 亜夫
(TEL. 03-3834-0511)

中期経営計画の一部見直しに関するお知らせ

当社は、平成 20 年 12 月 25 日開催の臨時取締役会において、中期経営計画である「ステップエコー 510」の一部見直しについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 中期経営計画一部見直しの趣旨

当社は最近の経済環境の悪化、大幅な需要減退に鑑み、中期経営計画（平成 19 年 4 月～平成 23 年 3 月）における経営戦略並びに経営目標の組み替えに着手いたしております。また、競争力強化を図るための生産拠点の再整備事業として建設中である「西湘新工場」への横浜工場から工場機能の移転計画は予定通り実行するも、移転・閉鎖後の現横浜工場の売却計画は、昨今のマンション建設の環境悪化などから当社の希望する譲渡価格での売却は厳しいと判断し、ある程度の不動産市況が回復するまで延期することといたしました。

2. 中期経営計画変更の概要

当社における中期成長戦略に基づく経営計画の前提が大幅に見直しを要する状況となっており、平成 21 年 1 月末を目処に取りまとめ中であります。その中で、当社の生産拠点整備の一環として建設中の西湘新工場については計画通り完成（平成 21 年 4 月末竣工）を予定しておりますが、現横浜工場の売却については中高層共同住宅用地として大手ゼネコンほかと交渉を重ねておりました。然しながら、本年度前半の建築資材の急騰に続き、米国発の金融不安影響など、不動産売買に関わる環境悪化から、当社の希望する譲渡条件を満たさず、不動産市況回復には相当の時間を要するものと判断し、売却を延期することといたしました。これに伴い、中期経営計画における当該工場売却による含み益の実現を保留させると共に、事業拡大、競争力強化を図るための成長戦略の一部を見直し、併せて、本年度の「タックスプラン」の一部を見直すことといたしました。

① 中期経営計画の一部見直しについて

イ) 見直し時期；平成 21 年 1 月末

ロ) コンセプト；

1) 目標営業規模 国内 200 億円＋海外 100 億円→国内 150 億円＋海外 100 億円

2) 目標利益率 連結 ROS 5% → 4%

3) 再投資金額 40億円 → 30億円 (但し、工場再整備計画は別枠)

② 現横浜工場の売却計画変更について

	(当初計画)	(今回の計画変更)
イ) 希望売却条件；売却希望価額	20億円±α	20億円での売却を継続探査
	予定する売却益 17億円	当面の間、含み益実現を留保
ロ) 当初売却先；	大手ゼネコン、保険会社ほか	メーカーも含め幅広く再調査
ハ) 売却時期；	当初平成20年3月末まで	不動産市況の回復まで延期
ニ) 工場移転；	平成21年8月末 移転完了	計画変更なし
ホ) その他；	必要設備撤去搬出後に工場閉鎖、 現状あり姿で土地引渡し	土地活用は別途検討

なお、西湘新工場の建設費32億円のうち、27億円は既支払済みで、残金についても資金手配済みであります。また、今後の設備投資には手許の厚めに保有する現預金のほか、海外からの配当金、貸付金の返済金および手元の含み益のある有価証券売却など、合計12億円を充当、運転資金の増減はファクタリング未実行残高、手形割引未活用枠(現行手形割引はゼロ)をもって対応する計画に変更はありません。

③ 「タックスプラン」見直し

現横浜工場の売却時期の繰り延べにより、平成21年3月期において課税所得の発生が実現できないと判断し、過年度計上の「繰越税金資産」は、取消処理することと致します。これに伴う、業績修正は同日付にて別途発表する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

以 上